

長浜ロータリークラブ



「上野生チューリップ畑」
写真愛好会 北村 隆信 君 提供

■例 会/毎週月曜日 12:30~13:30
 ■会 場/北ピワコホテルグライエ
 ■創 立/昭和26年2月26日
 ■事務局/〒526-0067 長浜市港町4-17 北ピワコホテルグライエ別館
 TEL (0749)63-3500 FAX 62-6618
 E-mail:n-rotary@circus.ocn.ne.jp HP:http://nagahama-rc.org/

●本日のRI財団為替交換レート \$1=¥82



「地域を育み、大陸をつなぐ」

RI会長 レイ・クリンギンスミス

(真のロータリアンをめざして)

「ロータリーを良く学び、変化を知り、忘れたことを思い出そう」 RI2650地区ガバナー 栗田 幸雄

「ロータリーの価値観を分かち合おう」 長浜ロータリークラブ会長 笹原 俊昭

第2878回例会

2011年5月16日(月)
12:30~

■プログラム

「 新 旧 ク ラ ブ 協 議 会 」

担当：会長・幹事会



米山記念奨学生決定

当クラブが世話クラブとなるネパール出身のタマン・スジタ (TAMANG SUJITA) さんが米山記念奨学生に決まり、そのカウンセラーに鈴木健一君が選ばれ1年間面倒を見ていただくことになり、5月9日の例会で紹介されました。

タマンさんは来日以来1年半北海道で日本語の勉強をして、長浜バイオ大学に入学、現在バイオサイエンス学部の4年生です。薬学に強い関心を持ち、将来は薬学の研究者や製薬会社の研究員などの道に進みたいとのこと。

米山奨学事業はロータリーの誇るべき国際奉仕活動です。奨学生との交流のキーパーソンはカウンセラーですが、カウンセラーだけでなく世話クラブ全体で奨学生を受け入れる体制を整えることが大事であると言われています。これから毎月1回タマンさんは例会に出席しますが、小柄で非常に可愛い娘さんです。気軽に声をかけてあげてください。

参考：「ロータリーの友」5月号に元米山記念奨学生の姫 軍氏の「米山記念奨学生と私の夢」の記事があります。ぜひ一読下さい。

- 同例会決算報告に関する件
- 3、長浜ローターアクトクラブ海外研修参加決算報告に関する件
 - 4、情報集会並びに新入会員歓迎会決算報告に関する件
 - 5、東近江ロータリークラブ50周年記念式典出席決算報告に関する件
 - 6、長浜ライオンズクラブ50周年記念式典出席決算報告に関する件
 - 7、水口ロータリークラブ創立50周年記念式典並びに祝宴自粛について
 - 8、長浜東RC創立35周年記念に関する件
 - 9、RYLA参加に関する件
 - 10、新旧クラブ協議会開催に関する件
 - 11、職業分類に関する件
 - 12、年度末懇親会(移動例会)開催に関する件

審議事項

- 1、長浜ロータリークラブ定款・細則に関する件
- 2、2011~2012年度予算(案)に関する件
- 3、江・三姉妹の博覧会の入場券の件

5月度定例理事役員会

日 時 5月9日(月) 13:45~
 場 所 長浜ロータリークラブ事務所

審議事項

- 1、地区大会参加決算報告に関する件
- 2、長浜ロータリークラブ・長浜ローターアクトクラブ合

第60回県下RC合同親睦ゴルフ大会

4月26日、蒲生カントリーに於いて「東日本大震災義捐金チャリティ・ゴルフ」が開催されました。当クラブからも例年になく多く、11名が参加されました。残念ながら団体7位に終わりましたが天候に恵まれ楽しくプレーして、他クラブ員との友好の輪が広がりました。

長浜ローターアクトクラブ報告

5月の第1例会を5月3日に行いました。社会奉仕委員会担当の例会で「いまローターアクトにできること」と題し、東日本大震災を受けて、長浜ローターアクトクラブとしてできることを考え黒壁スクエア周辺にて募金活動を行いました。震災からおよそ2ヶ月たち地震への意識も少し薄らいでいるところでもあり、啓発の意味もこめての活動としました。ゴールデンウィークの休日ということもあり朝からたくさんの方の往来があり募金していただくことができました。クラブ員の意識も高まり、意義深い例会を行うことができました。

隣接クラブプログラム

- 5月17日(火) / 長浜北RC 「曳山祭り」と長浜の観光
- 5月19日(木) / 彦根RC 「新会員スピーチ」
- 5月20日(金) / 長浜東RC 「長浜東RC創立35周年記念例会(式典)」

開 会 点 鐘
 口 ー タ ー ソ ン グ
 来 客 紹 介
 食 事 ・ (歓 談)
 会 務 報 告
 各 委 員 会 報 告
 会 長 の 時 間
 プ ロ グ ラ ム
 閉 会 点 鐘

2010~2011年度 理事・役員

会 長(理事) 笹原 俊昭
 幹 事(理事) 柴田 正明

会 計(理事) 永井 茂雄
 前会長/S・A(理事) 辻 喜八郎
 会長エレクト(理事) 畑澤 昭男
 副 会 長(理事) 小川 彰三
 (クラブ管理運営兼任)
 クラブ広報(理事) 梅本 敏彦

クラブ会員増強(理事) 北村 隆信
 奉仕プロジェクト(理事) 本城 善男
 (クラブ奉仕兼任)
 ロータリー財団(理事) 藪内 猛之
 職業奉仕(理事) 伊藤 寿彦
 社会奉仕(理事) 眞杉 義和

国際奉仕(理事) 関谷 松男
 新 世 代(理事) 岸本 一郎
 副 幹 事 森居健太郎
 副 S . A . A 国友 隆房
 会 計 監 査 岡野徳一郎

- それこそロータリー 1. 真実かどうか 3. 好意と友情を深めるか
 言行はこれに照らしてから 2. みんなに公平か 4. みんなのためになるかどうか

被災現場で思うこと

長浜消防署消防係長兼警防課救急係長 金沢 篤氏



冒頭に私が日々現場活動していく上で、いつも心がけていることは、安全に活動することと述べ、皆さんには、実際に起こった救助現場の写真を見て考えていただきました。

始めに、琵琶湖が写っている写真を見て、救助するには何が必要か考えていただき、物事を把握するには、5W1H（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのようにして）が必要であることを知って頂きました。

次に、釣ってきた魚の写真（サワラ）を見ていただき、一度でも見たことがある、体験したことがあるが、いかに重要であり、それらの情報がないと何もできない、また、何をしたいのかわからない、さらに正確な判断ができないかを知っていただきました。

以上のことから、どんな状況でも、安全に活動するには、まず情報収集し、どんなに慌てていても、状況を的確に把握する。

また、状況の把握をしないまま、物事を実行しないように注意し、情報が多いほど、事故やトラブルが少ないことを説明しました。

以上のことを踏まえ、今回の講話の目的として、被災地の状況や体験談の情報を知って頂くことで、皆様方には、今後の役に立てて頂く考えであることを説明しました。

続いて、東日本大震災で福島に入り、滋賀県救急消防援助隊の救急部隊長として活動した時の被災地の状況や体験談について、数枚の写真を使って説明しました。



続いて、阪神淡路大震災に滋賀県消防緊急救助隊として、神戸市長田区で活動した時の写真を使って状況等を説明、二つの震災の比較等をして、現場で困ったことを列記、今後に活かしていただくため、項目ごと説明しました。



また、実際の災害時における避難行動のポイントを列記し、今回の震災を振り返り、基本に忠実なことが助かるポイントであることを説明しました。

最後のまとめとして、再度、安全に活動するポイントを確認していただくため、要点を列記し、そのためには、日ごろからどのようにしたらよいのか、そのような場合はどのように考えたら良いのかを説明し講話を終了しました。

◆出席報告

内容 月日・回	会員 総数	免除 会員	事前 出席	事後 出席	ホーム クラブ	出席率
4/18・2875	61	8	4	1	45	89.29%
4/25・2876	61	8	2	7	41	87.50%
5/9・2877	61	8	1		51	92.98%

例会プログラム予定

● 5月23日
次 「ニュービジネスに挑戦」
 講師：上田産業株式会社代表取締役社長 上田 聡君
回 担当：上田 聡君

● 5月30日
次 「ライラ報告」
々 講師：たんぼぼTAJIMAYA勤務 伊藤 綾香氏
回 担当：新世代委員会

・・・童心にかえろう・・・肩書をおとそう・・・年令を忘れよう・・・